

技能検定実技試験会場に暗雲

受検者数日本一を誇り、解決をめざす

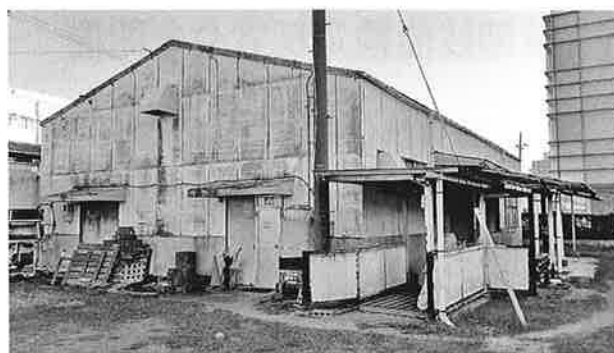
現在、名古屋市南区阿原町にあるプラスチック成形技能検定場(検定会場)では、射出成形の1級、2級、3級、随時3級の実技試験及び各種実技講習会が行われている。ここには75～80tの検定用射出成形機が5台設置され、6～9月に実施される1・2級実技試験には毎年700～800人もの受検者が参加している事からもわかる通り、我々プラスチック成型業界に携わる者にとって無くてはならない施設となっている。

しかしこの施設自体は、昭和38年に愛知県が旧名古屋高等技術専門校として整備したもので、平成4年に高等技術専門校が北区へ移転したのに伴ってその実習場を改装し、射出成型の検定会場として28年間にわたって愛知県から借用している物件であり、築後56年余りを経て老朽化が進んでいるのも事実である。

こうした中、昨年、愛知県からは『県有施設の活用適正化の方針の下に県立高等技術専門校の再編を行う事となり、この検定会場も6年後



検定用成形機(手前から住友重機械工業、日精樹脂工業2台、日本製鋼所2台)



検定会場の建屋

には廃止する計画なのでその期限内に移転して欲しい』との要請が出されるに至った。

受検者数においても、また、プラスチック製品の出荷額においても数十年の長きに亘って日本一を誇る愛知県に於いて、人材育成の要となる技能検定実技試験が実施できなくなる事態を引き起こしかねない県からのこの要請は、プラスチック業界、ひいては産業界に及ぼす影響を考えると到底考えられないものであり、理事会や幹部会でも継続使用の陳情はもとより、逐次検討を重ねてはいるものの、現在のところ良い解決策が見つからず状況の打開に大変苦慮しているのが現状である。

当協会・組合としては、今回、改めてこの検定会場の移転要請問題を広く会員の皆様にお伝えし、心当たりのある代替地や自社工場の提供等、会員の皆様のご協力のもと、幅広く情報を収集して問題の解決を図っていきたいと考えている。

平成31年度前期技能検定

平成31年度前期技能検定プラスチック成形射出成形作業1・2級の合格者が、10月4日愛知県職業能力開発協会から発表された。

技能士の合格者数と合格率は、1級55名・21.3%（昨年比3名減・-2.6%）、2級165名・29.5%（21名増・+4.5%）、実技試験の合格者数と合格率は、1級57名・23.6%（3名増・+0.1%）、2級158名・31.1%（15名増・+3.0%）の結果であった。全国平均は、1級技能士24.5%（実技26.6%）、2級技能士36.0%（実技40.4%）であった。

前期技能検定反省会を開催

2級実技合格率30%超える

平成31年度前期技能検定が終了し、その報告と実施上の反省会が10月11日午後5時から名古屋国際ホテルにおいて行われた。



冒頭井上理事長は、「組合の主力事業である技能検定は、関係者皆さんの熱意、努力により継続して実施することができ、大変感謝しています。現在、技能検定会場の移転という問題に直面していますが、愛知県との折衝により善処して行きたいと思っております」とあいさつした。

次いで、愛知県職業能力開発協会技能検定課原弘典課長は「採点会議を経て、10月4日に合格発表に至った。合格率は昨年対比で1級はほ

ぼ同様で、2級は3%ほどアップした。今後は随時3級の受検者数が激増することが予測されるので、その対応への協力をお願いしたい」と述べた。

続いて技能検定委員会立木委員長から、申請者数、合格者数、合格率について今年度の結果、過去2年からの推移の説明はじめ、検定委員を対象に実施されたアンケートの回答のまとめが発表された。その中で実技試験全般については、①受検者の作業において、技量不足が多い②採点では、PEページの判断が迷う③検定委員については、判定に差がある。もっと水準調整をする必要がある④その他では、成形機によって差があるなどの回答が目立ったとし、終わりに「今回のアンケート結果の対応に、万全を期して行きたい」と締めくくった。

この後懇親会に移り、あいち産業科学技術総合センター福田嘉和産業技術センター長が「2級の合格率アップは、去年の課題に上がっていた。皆さんの協力で達成できた」と、喜びを表わし乾杯の発声を行った。

過去10年間の申請者・合格率の状況

年度	実技申請者	1級実技申請者	2級実技申請者	1級実技合格率	2級実技合格率
平成22年	936	319	617	28.5%	40.4%
平成23年	921	280	641	26.8%	41.0%
平成24年	913	274	639	21.9%	33.0%
平成25年	825	260	565	18.8%	32.0%
平成26年	864	284	580	21.5%	31.0%
平成27年	863	260	603	11.2%	25.4%
平成28年	829	278	551	28.8%	34.3%
平成29年	715	236	479	21.2%	30.3%
平成30年	736	228	508	23.7%	28.1%
平成31年	750	242	508	23.6%	31.1%

おかげさまで創業65年
世界の風を掴み、次世代を創造します。



東郷産業株式会社

取扱製品 | 自動車、電機、産業機械、船舶、航空宇宙関連等の資材、特殊鋼・合金鋼、工場設備機械類の販売

〒460-0012 名古屋市中区千代田五丁目4番16号 | 品質保証 ISO9001:2015取得 環境保全 ISO14001:2015取得
TEL 052-251-5371 FAX 052-251-5381 <http://www.to-go.co.jp/>



株式会社 三幸商会

取締役社長 若尾 剛

名古屋市千種区内山三丁目3番2号 〒464-0075

TEL (052) 733-5111(代) FAX (052) 733-5141

Sanko Shokai Co., Ltd

3-3-2, Uchiyama, Chikusa-ku, Nagoya, Japan

TEL : (052) 733-5111 FAX : (052) 733-5141

平成31年度前期技能検定試験を終えて

技能検定委員会委員長 **立木 繁**

平成31年度の射出成形1・2級の前期技能検定試験について、過日、合格発表もあり無事終了することができました。まずは検定試験に携わっていただいた検定委員・補佐員の



あいさつする立木委員長

皆様、また送り出し企業をはじめとする関係各位に深く感謝申し上げます。

6月から3ヶ月に亘って行われた技能検定実技試験、それに続く製品採点会議（8月29日実施）、さらには前期技能検定反省会（10月11日実施）と、長期間に及ぶ各行事が無事、遂行できましたのも関係各位のご協力の賜物と重ねてお礼申し上げます。

さて、今年の技能検定試験においては1級242名、2級508名、合計750名の受検者となり、受検者数は横ばい～微増の状況となっております。合格率については、1級23.6%（昨年23.7%）、2級31.1%（昨年28.1%）という結果となりました。合格率の大きな変化は見られませんでした。2級においてはなんとか30%を超えることができました。（2P表参照）

不合格の内容を数字の上で検証しますと、提出製品の採点以前に実技段階での不合格者は、受検者の内、1級52.1%（昨年54.4%）、2級45.7%（56.9%）であり、2級に関しては実技段階での失格者が10%以上減少しまし

た。実技段階での不合格者の中で最も多い事由が、「時間切れ・技量不足」で例年同様の内容でした。また実技習熟度不足、あるいは基本的知識不足の受検者が目立つということも同様の傾向であります。

技能検定事業運営について、ここ数年の課題となっている事案に「検定委員のレベル平準化」があります。愛知県の場合、他の都府県に比べて圧倒的に受検者が多く、それに伴って多くの方に検定委員をお願いしております。

受検者数が多く、そのレベルの幅も広く、さらに実技試験という性格上、試験時に起こる様々な事象に対する的確な対応をとることが今まで以上に求められております。

好評をいただいております新人検定員向けの講習会をさらに展開させて、検定委員全体のレベルアップ、平準化に繋げていけるような取り組みを検定委員会等で議論していきたいと思っております。

最後に、関係各位の検定試験実施に対するご協力に改めて感謝申し上げますとともに、技能検定運営への益々のご助力をお願い申し上げます。

令和元年度後期技能検定 受検申請状況

作業別	級別	受 検 区 分						合計	実技	学科
		A甲	A乙	A丙	B	C	D			
プラスチック成形	特級	31	1		9	2		43	33	41
射出成形	3級	45			1	6		52	51	46
ブロー成形	1級 ----- 2級	公示なし								

プラスチックのお困り事に...



愛知実業株式会社
 〒485-0041 小牧市小牧4丁目225-2 澤屋清ビル201号
 ☎ 0568-54-1680 📠 0568-44-1680

全電動射出成形機



JADS® SERIES
 すべてのお客様に最大限の安心を

すべてのお客様の問題を解決
 ●Satisfaction ●Smart ●Strong ●Stable

JSW 株式会社 日本製鋼所
 ●名古屋営業所 TEL.052-222-1271 ●株式会社ニップラ 名古屋営業所 TEL.0561-74-7400



懇親会の会場

『生産性向上への取り組み』聴く

講師に住友重機械工業 赤松雅治氏

今回も反省会の前には、恒例の技術講演会が行われ、講師に住友重機械工業プラスチック機械事業部赤松雅治主任技師を迎えて演題『生産性向上への取り組み』を聴講した。

講師は、①段取り時間の短縮②樹脂替え短縮専用機③高速自動金型交換による生産性向上④成形サイクル短縮をポイントに話を進めた。

段取り時間については、自動化による短縮が効果的で、導入費用は高くなるが人員の削減、樹脂容量の削減ができ良品率も上がれば効果は大きい。樹脂替えの短縮では、同社の全自動射



反省会前の技術講演会

出成形機「SEDU-TI」を紹介。成形中に次の射出装置の樹脂替えが可能で、樹脂替え時間は2分以内などの利便性が説明された。高速自動金型交換は、冷却時間を利用しての金型交換、自動段取りによる生産効率など、生産量の増加、省人化などにスポットがあてられた。さらに、積層成形によるハイサイクル化での短縮についての説明で結ばれた。



講師の赤松雅治氏

厚生労働大臣表彰を受賞

山川清孝氏 (パナソニック)

塩川良雄氏 (中部日本プラスチック職業訓練校)

11月25日東京の明治記念館「富士の間」において職業能力開発関係厚生労働大臣表彰式が開催され、技能検定関係功労者としてパナソニックエコシステム山川清孝氏と中部日本プラスチック職業訓練校講師塩川良雄氏の両名が厚生労働大臣表彰を受賞した。



山川清孝氏

山川氏は、平成14年から技能検定委員として現在まで17年間、技能検定試験の推進に尽力し、その功績が認められ受賞となった。



塩川良雄氏

塩川氏も昭和56年から現在まで通算13年間技能検定委員として技能検定実技試験の推進に努め、その功績が認められ受賞となった。

スクリーンデザインが安定成形の決め手です

省エネ・成形不良対策 おまかせ下さい！

特にベント可塑性ユニットによる成形は

原料の「乾燥レス」
原料中の「ガス・水分・残留モノマー除去」
金型の「メンテ周期大幅延長」など
確実に成果を上げています

株式会社 日本油機 〒252-0203 神奈川県相模原市中央区東淵野辺 4-2-2

「確かな品質 価値ある商品
プラスチックの矢作産業」

YS 矢作産業株式会社

代表取締役 石川 勝敏

額田郡幸田町大字菱池字荒子15番地1
TEL (0564) 63-5300

「共に歩む」正会員と賛助会員の交流コーナー

プラスチック中部では、正会員と賛助会員の交流を誌上で深めるため、『共に歩む』（賛助会員のコーナー）を掲載しております。今回は㈱東洋化学商会の紹介です。

プラ成型の

周辺資材は



東洋化学商会 西日本販売に

お任せください!!

各種エアゾール..

潤滑剤..



防錆剤..



洗浄剤..



離型剤..



梱包資材..



TSMツール..



パージ剤..



成型機..



周辺資材..



プラ成型を支える総合商社



東洋化学商会

西日本販売

名古屋支店 〒435-0023

愛知県名古屋市中村区若宮町3丁目9番1号

TEL:(052)433-1168(代)

FAX:(052)433-1169

担当: 益田 (支店長)

㈱スター精機 出雲工場を見学

合同支部会を島根県で開催

10月18日(金)、19日(土)の両日にわたり、今年で15回目となる合同支部会が開催され、組合員をはじめ総勢19名が参加した。

降りしきる雨のなか、早朝7時県営名古屋空港に集合、FDA411便で7時55分にフライト、出雲縁結び空港に8時55分に到着した。空港からは大型貸切りバスに乗り、午前中は出雲大社を参拝、隣接する古代出雲歴史博物館を見学した。出雲大社は大国主大神さまを中心として、客殿に六つの神様をお祀りしている。雨が激しかったため、拝殿と御本殿、神楽殿のみを参拝した。博物館では、常設展示室で古代出雲国の暮らしが再現され、国宝の銅剣や銅鐸・銅矛も多数展示され、出雲大社の歴史も詳しく紹介されていた。見学後、「島根ワイナリー」で昼食を取った。

13時30分賛助会員の㈱スター精機出雲工場に到着、多くの社員の出迎えを受け、会議室で会



塩谷社長（正面中央）のあいさつ

社概要などの説明を受けた。

㈱スター精機は昭和39年5月に設立、取出し機をはじめコンベアや確認装置の設計、製造、販売から修理・点検保守に至るまで、成形機にまつわる周辺装置を一貫して手掛けてきた。冒頭塩谷社長の挨拶の中で、皆さんに必ず聞かれるのが、「どうして出雲に工場を建てたのですか」という質問です。1980年のバブルの時代、取出機の需要が急激に高まったが、当時は人手不足のうえ採用難で増産が出来なかった。当時の社長から新工場の候補地を探すよう指示があり、全国の工業団地を調べたが従業員の確保が難しく決めきれなかった。そんな時に東京での自動化展に出展した時、島根県の企業誘致の担当者が立ち寄り、たまたま居合わせた当社の島根県出身の幹部社員と知り合いで、出雲市斐川町に誘致計画があるので視察に来て欲しいと懇願された。その後、話しはトントン拍子に進み、課題の人材も必要な人数を必ず集めます、保証しますとの力強い言葉で進出を決めた。島根県の新卒の若者は県外に就職する。地元に残ってもらうには就職できる企業が必要である。工場



工場内の見学

プラスチック用産業合理化機器メーカー
NAKAMURA
中村科学工業株式会社

本社工場 Head office & Factory 愛知県岡崎市北野町字高塚101
TEL(0564)31-2919 FAX(0564)31-9435
URL <http://www.nakamurakagaku.co.jp/>

東京支店 Tokyo branch 〒182-0054 東京都八王子市小門町8-37
TEL(042)620-5466 FAX(042)620-5461

一生涯のパートナー
第一生命
Dai-ichi Life Group
第一生命保険株式会社
ホームページ
<https://www.dai-ichi-life.co.jp/>

完成時には100名以上の従業員を採用することができた。これも出雲大社の大国主命のお陰ですと感慨深く話した。

続いて工場紹介ビデオを観たのち三嶋総務課長代理からパワーポイントで会社概要の説明を受け、ここ出雲工場は平成4年に完成し、射出成形用の取出しロボットを中心に組立て工程を担い現在に至っていると説明があった。その後、2班に分かれ工場内を見学、各工程ごとに担当者から現場改善事例の説明があり、地道な取り組みの成果が各所に見て取れた。会議室に戻り、質疑応答では多くの質問に対し出川工場長が一つ一つ丁寧に回答された。

最後に、正面玄関で塩谷社長を囲み記念撮影、その後、松江市内の宿泊先「松江エクセルホテル東急」に向かった。チェックインの後、夕食会場の日本料理「和らく」に移動し懇親会を開催した。塩谷社長はじめスター精機からも3名の参加があり、地元の素材を使ったおいしい料理とお酒、楽しい会話を堪能し、和やかななか閉会となった。

2日目は昨日同様雨のなか最初の訪問先、五万坪の日本庭園を誇る足立美術館を訪れた。



出雲大社御本殿



正面玄関での記念撮影

当館は横山大観をはじめ明治から昭和にかけて日本画壇を彩った巨匠たちの作品約1,500点を所蔵し、年4回の特別展を3ヶ月単位で順次開催し紹介をしている。実業家の足立全康が私財を投じて昭和45年に開館、絵画の他北大路魯山人、河井寛次郎の陶芸作品を展示した陶芸館もある。一方、日本一の庭園に目を向けると秋雨に映る「枯山水庭」など各6つの庭園に誰もがスマホで写真を撮るほど彩りに包まれ、その広大な庭園に誰もが見とれていた。

足立美術館を後に境港市に向かい、昼食後、水木しげるロードを散策した。「ゲゲゲの鬼太郎」でおなじみのネズミ男やネコ娘など

一定間隔で妖怪の小型モニュメントが並び一風変わった光景のなか興味深く散策を楽しんだ。最後に国宝松江城を見学した。関ヶ原合戦の後、出雲・隠岐の両国を支配した堀尾吉晴が築いた城で、松江城と城下町を建設し、現在の松江市の礎を築いた。ようやく雨も止み天守閣から望む松江市内の眺めを楽しんだ。

松江城見学を最後に山陰道に戻り、出雲縁結び空港から県営名古屋空港に19時35分無事到着、その後解散となった。

成形工場の見える化/IoT化の実現!

生産管理システムのことならお任せください

muratec ムラテック情報システム株式会社

〒612-8686 京都市伏見区竹田向代町 136
TEL:075-672-8257 FAX:075-672-8307
<http://www.muratec.jp/mis/>



三井住友信託銀行

名古屋営業部 TEL.052-242-7311
〒460-0008 名古屋市中区栄3丁目15番33号 栄ガスビル

職業訓練校レポート

中部日本プラスチック職業訓練校では、9月、10月における授業で次の見学を実施した。

材 料：いその株式会社（9月13日）

金型の構造：株式会社三洋製作所（10月4日）

提出されたレポートの一部を紹介する。

三洋製作所見学レポート

■株鈴木化学工業所：K.K

三洋製作所には、金型部門と成形部門があり、金型部門では、プラスチック射出成形用金型を創業以来10,000型の製作実績を持つ企業です。金型製作から修理まで成形加工メーカーのニーズに応える形で、金型と向き合っている企業です。

また、金型製作にあたっては、CAD/CAMを導入は早い時期から行われ、豊富な経験に基づきあらゆる樹脂からメタル成形まで金型設計～製作を信頼できる自社技術と最新の設備で対応されていました。

成形上の不良の要因となる問題を流動解析して、事前に十分な検討打ち合わせをすることによって、最良の型製作方法で進めることを知る事ができました。また、流動解析をPC画面で解析して型設計している技術者の方と話を聞くこともできました。

製作している金型は自動車部品のみならず、家電関係、音響関係、遊戯関係、二色成形、金型インサート、フィルムインサート、メタルインジェクションモールド(MIM)等があります。

成形部門では、カメラ部品・医療部品等の精密、高強度部品の成形に加え、自動車用部品・弱

電・音響分野等幅広くOEM生産しており、特に、耐熱性の高いスーパーエンジニアリングプラスチック（高性能樹脂）であるPEI・PEEK等の小物成形（70tクラスまで）に関し、多彩な実績があります。

製品開発において、プラスチック関連製品の製造会社では、一般的に製品設計・金型設計製作及び成形加工が各々専門で行われているところが多く、各会社間で発生する利害関係等から不具合発生時の責任の所在が不明瞭になる場面が生じてしまう場合もありますが、同社では、金型設計製作部門と成形加工部門の双方を持ち合わせていて、お客様のニーズに機敏に対応でき、また、製品によっては同社内にて製品設計を行いワンストップ生産体制の確立を可能としています。

金型の製作のみならず成形まで行っていることに感嘆しました。金型製作の技術力もそうですが、タグファスナー・ファスナーの多種類にも当社のシェアの広さを知り、またタグファスナーの成形方法も見て知る事が出来ました。

金型の製作のみならず成形に関しても初めて聞くことばかりでしたので良い勉強になりました。是非、今後活かせる機会を見つけていきたいと思います。

■山宗株：M.S

同社では、金型の設計・製作を行う金型部門と樹脂成形を行う成形部門がありました。今回は、金型部門を見学させて頂き、CADを使用して金型の設計をしているところや金型を製作しているところを実際に見ることができました。また、金型部門では樹脂用金型だけでなく、



第一実業株式会社
DAICHI JITSUGYO CO., LTD.

本 社 〒101-8222 東京都千代田区神田駿河台4丁目6番地
(御茶ノ水ソラシティ) TEL03-6370-8600 (代)
大阪支社 〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島3丁目6番32号
(ダイビル本館) TEL06-4967-3000
名古屋支社 〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦2丁目3番4号
(名古屋フロントタワー) TEL052-201-5471
URL:<http://www.djk.co.jp>

未来素材をオーダーメイド
エンプラのトータルサプライヤーKASAGI



笠置産業株式会社

本 社：名古屋市東区泉一丁目17番24号 〒461-0001
TEL(052)962-9500 FAX(052)972-7986
営業所：浜松・豊川・諏訪 工場：豊川



加藤社長（右端）から製品の説明を聞く

MIM（メタルインジェクション）やCIM（セラミック）などの金型も製作していました。製作中の金型や組み立て中の金型を見ることは、初めてでとても新鮮な体験でした。

実際に金型の製作現場をみたときは、はじめに金型加工機の多さに驚きました。台数の多さもそうですが、加工機の種類がフライス盤、マシニングセンター、型彫り放電加工やワイヤーカット放電加工など加工用途に合わせた加工機が数多くありました。放電加工に用いるグラフィットやワイヤーカットに用いる銅線は使い捨てであることを聞き、金型製作における精密さの重要性を感じました。

私が一番知りたかった鏡面みがきの工程も見学しましたが、粒の荒いシートから粒の細かいシートを用いていき、何度も同じ箇所を磨かれており時間の掛かる大変な作業だと感じました。

金型の製作は、受注してから3～数ヶ月単位での日数が必要である理由が理解できました。

最後に金型は樹脂成形において最も重要で大事なモノであると感じています。その金型を一つ一つ丁寧に製作する同社を見学できてとても勉強になりました。今後は、金型についての知識をもっと増やして行きたいと感じました。

■山宗(株)：Y.I

同社は金型製作と成形を行っている会社であり、見学の際には、最初に成型品の説明を受けた。

まずそこで、衣服などに値札を付けるためのフックの紹介があり、φ1mm以下のエジェクタピンの多さや、成形材料のクリープ現象を利用した延伸製品の説明を受けた。フィルム転写・本木転写の成形品のサンプルがあり射出成型で製作できる製品の幅の広さに驚きました。

その後実際に金型工場を見学しました。そこでまず感じたことが、工作機械の種類の多さでした。

金型を削るという一つの作業でも、放電加工機やワイヤー放電加工機、マシニングセンター、フライス盤といった機械があり、金型の加工には、多くの技術が使われていることを学びました。

次に感じたこととして、人の手作業での加工も、金型製作に重要であると感じました。

製品の意匠面の精度を出すために、鏡面磨きを行うのですが、その作業は作業者による手作業であり、機械ではできないことだと伺い、機械がどんなにハイテクになっても、手作業で行う熟練者の加工技能が大切であると学びました。

金型製作には、多くの技術や専門的知識が必要だと今回の見学で学びました。私が業務でお客様と打ち合わせを行う上で、金型の技術について知っていないと、良い成形品など作ることはできないと感じ、積極的に技術・技能を勉強していこうと感じました。



本社管理棟前で

技術とハートがスパークする

ドラマチック創造企業

プラスチック、セラミックス、MIM金型



株式会社 三洋製作所

本社工場 名古屋市緑区鳴海町下沙田183番地

TEL052-621-5238 FAX052-621-3501

いその見学レポート

■(株)タイセイプラス：S.M

いその株式会社の工場見学では、プラスチック材料がペレットとして出来上がるまでの工程と同社の環境への取り組みを学ぶことが出来ました。

最初に同社はプラスチック材料の新材(バージン材)を着色したり、剛性等の性質(グレード)をお客様の要望に合わせて提供しています。その為の設備であるタンブラーや、押し出し機の現物を見学させて頂きました。さらに着色に使用する着色材も見ることが出来参考になりました。

工場見学では、混ぜ合わせた後ペレット化するために押し出し成形で棒状に押し出され水で冷却、カットしペレットになっていく工程を見学しました。射出成形やブロー成形と異なった成形で新しい成形方法を学ぶことが出来ました。

次に同社では使われなくなったりサイクル事業として、プラスチックを再利用しペレット化して再生材とする技術を持っています。再生材である為、やはり製品は黒の様に着色しているものが多く、異物が入っていないかといった品質にも一層気を付けているそうです。品質を維持するために最新の設備で測定し、問題が生じていないかのデータを取っているところを見学させて頂きました。

今回工場見学をしたことで、自社で取り組んでいる事業との違いや座学で学んだことへの一層の理解を深めることが出来、参考になりました。

また成形メーカーに勤めている身として、近年プラスチックごみが問題となっているため、同

社の取り組みは参考になりました。さらに、ペレットが製造される過程や方法を学ぶことが出来ました。今後の業務に役に立てて行きたいです。

■(株)西浦化学：N.W

今回の見学では、いその株式会社稲沢工場に行きました。高品質のリサイクルコンパウンド材を幅広いお客様のニーズに合わせて製造しており、国内のみならず海外樹脂メーカー品も取り扱っています。

さらに循環型リサイクル事業という事で、自動車メーカー、解体業者、粉碎業者と連携をし、廃車となった自動車部品をコンパウンドとして、新たな自動車部品に生まれ変わらせる事によって、環境保全に努めています。またペットボトルキャップの回収活動で、世界中の苦しんでいる子供達にワクチンを支援するなど、社会にとっても貢献している企業です。

実際に工場内を見学して、国内最大級の2トン大型タンブラーから様々な大きさのミキサー、20台近くのルーダー、設備環境が整っていると感じました。検査工程も同様に精密な最新の測定器が並んでおり、形状の確認、異物混入していないか、その他多くの検査項目を熟練した人材によって検査される事で、高品質に繋がっているのが分かりました。

多くの大手企業から信頼されており、需要の高さに驚きました。コストも品質も考えて取り組まれたというだけでも十分に感じますが、更に同社の製品使用でエコマークが認定されるという事に感銘を受けました。環境への負荷が少なく、環境保全に役立つと認められていて素晴らしいと思います。

**プラスチック表面処理の
一貫生産が可能!**

金型製作から成形、めっき、ASSYまでお任せください!

成形・めっき・蒸着・塗装・組立等
プラスチック表面処理の一貫生産メーカー

 **東洋理工株式会社**

〒444-1193 愛知県安城市藤井町南山178番地
TEL: 0566-99-0851(代表) FAX: 0566-99-1355
URL: <http://www.toyoriko.co.jp/>

取出用ロボット・FAシステムの総合開発

STAR
Quality First

株式会社スター精機
名古屋支店

〒480-0132 愛知県丹羽郡大口町秋田3-133

TEL 0587(95)7557 FAX 0587(96)1291

浜松営業所 TEL 053(432)6131 富山営業所 TEL 076(492)3260
静岡出張所 TEL 054(289)2241

本社・工場/〒480-0132 愛知県丹羽郡大口町秋田3-133 TEL 0587(95)7551(代)
出雲工場 / 〒699-0631 鳥取県出雲市斐川町直江3538 TEL 0853(72)4311

<http://www.starseiki.com>



再生材について説明を聞く

今回は材料の見学という事で、今まで訓練校で勉強してきた内容も出てきて、更により深いところまで学ぶ事が出来ました。また安全、品質、コストを考えられており、経営理念の「今こそ地球に恩返し」も環境保全で結果を出せていて、社員一人一人が意識している姿勢を見習いたいと思いました。私も今回得た事を活かし日々精進していきたいです。

■(株)鈴木化学工業所：C.T

いその株式会社は、愛知県名古屋市東区に本社があり、工場は稲沢市と九州、営業所を東京と長野におく材料メーカーです。

同社はリサイクル製品（冷蔵庫などの家電、車など）を分解して粉碎→調合→造粒→ペレット→検査の順番に再生しています。最初に見た会社紹介の動画で、冷蔵庫がバキバキと音を立てながら粉碎機にかけられていく映像が衝撃的でした。

年間6万トンがリサイクルされていて、うち50%が車、15%が家電、10%が建材です。また、そのうち63%に当たる38000tがPP、10000tがABS、PSが4000tとなっています。このデータからプラスチックは環境に悪いとされています

が、多くの車がきちんとリサイクルされているのだということがわかりました。

今回初めて押し出し成形機を見たのですが、糸状に細長く伸びた黒いABS樹脂が水槽の中を通過して冷却され、最終部で金太郎あめのように切断されていました。

射出成形機では金型を使い、金型に冷却水を通して、型内で冷やし固められるのに対して、押し出し成形は水に直につけて冷却されるという違いがわかりました。

検査工程では、検査室で研究員の方たちが物性を測ったり、異物や異形がないか検査していました。中には、虫眼鏡を使って手作業で検査したり、一粒々箸でつかんで分別していて、なかなか気が遠くなる作業だなと感じました。手作業だけでなく、FTIRという赤外線と比較して異樹脂や色物が製品にくっついていないかをチェックする機械や、蛍光X線装置やマイクロスコプを用いて品質検査を行っていました。

同社の主な製品の紹介で印象に残ったのが、学校の運動場の水はけをよくするために地面の下に埋め込む穴が開いたブロックです。1つの大きさが1メートル四方ぐらいでした。工事費がすごくかかりそうですが、導入している学校が増えているようで、グラウンド整備が楽になり、雨が降っても授業や部活がすぐにできるようになるそうです。

同社の材料は弊社でも使用しており、その材料がどんなところでどのような工程を経て作られたものなのか知ることができ、とても良い経験になりました。また、射出成形機しか見たことがなかったので、押し出し成形機を実際に見ることができ良かったです。

PLASTICS WORLD
YAMASO
山宗株式会社

本社 名古屋市北区大曾根1-6-28 〒462-0825
TEL(052)913-6131 FAX(052)913-6138
東京支店・静岡本社・福井本社・香港・上海

営業所 岐阜・三重・豊橋・松本・甲府・埼玉・西東京
茨城・浜松・沼津・金沢・富山・大分・京浜・京滋

NEX-IV

大きな金型。小さな成形機。

—— 新型 電気式高性能射出成形機 ——

■東海営業所 / 0568)75-9555(代) 〒485-0039 愛知県小牧市外郷2-167
■岡崎出張所 / 0564)52-1430
■三進出張所 / 059)272-4065
■静岡出張所 / 054)655-5656
■浜松出張所 / 053)423-0205

NISSEI 射出成形機・金型・成形金型システム
日精樹脂工業株式会社
http://www.nisseijushi.co.jp

■本社・工場 / 〒389-0693 長野県埴科郡坂城町南条2110 0268)81-1050

《2019年7～9月会員景況感調査報告（全国版）》

総回答数 214 社

1. 地域別内訳(事業の中心をおいている地域)

東日本	62 社	神奈川県	21 社	中部日本	45 社	西日本	86 社
-----	------	------	------	------	------	-----	------

2. 売上(または取扱)商品の中で最もウエイトの高いものの内訳

日用品・雑貨類	23 社	包装用容器・キャップ	30 社	電気・電子・通信部品	33 社
自動車・輸送機器部品	75 社	住宅関連	11 社	医療機器	4 社
				その他	28 社

3. 従業員数の内訳

20人未満	46 社	21～50人	52 社	51～100人	47 社	101～300人	40 社	301人以上	19 社
-------	------	--------	------	---------	------	----------	------	--------	------

4. 今期(2019年1～3月期)の自社業況について(%) (網掛けの数字は前期の結果です)

	2019年年7～9月(実績)											
	前期(2019年4～6月)比						前年同期(2018年7～9月)比					
	1.増加(↓)		2.横這(↑)		3.減少(↑)		1.増加(↑)		2.横這(↓)		3.減少(↓)	
①生産・売上高	17.8	20.9	44.9	43.7	37.4	35.4	28.0	22.8	29.9	32.7	41.1	43.3
②製品単価	5.1	5.7	85.5	83.7	9.3	10.6	10.3	11.0	74.8	73.8	14.0	14.4
③採算	11.2	9.9	57.0	60.1	31.3	29.3	16.8	14.8	49.1	45.6	33.2	38.4
④所定外労働時間	13.1	9.9	59.8	65.0	26.6	25.1	15.4	14.4	52.3	56.3	30.8	28.5
⑤製品在庫	13.6	13.3	66.4	65.8	20.1	20.5	14.0	16.0	64.5	62.4	20.6	20.5
⑥樹脂原料単価	18.7	23.2	74.8	68.1	6.5	8.7	27.6	36.9	61.7	51.7	9.8	10.6
⑦総合判断	7.9	7.2	58.4	59.7	32.7	33.1	16.8	11.8	45.3	47.9	36.9	39.5
⑧来期の見通し	11.7	11.4	57.0	58.2	29.9	25.1						

5-1. 当面の経営上の問題点(%) (網掛けの数字は前期の結果です)

1. 売上不振	2. 輸出不振	3. 製品単価安	4. 取引条件悪化	5. 過当競争	6. 輸入品との競合
42.1	40.3	2.3	3.4	28.5	28.9
				3.7	2.7
				9.3	8.7
				3.7	2.3
7. 流通経費増大	8. 原材料高	9. 借入負担増	10. 銀行貸し渋り	11. 人件費高	12. 採用難
16.8	19.0	25.7	28.5	5.6	7.2
				0.5	1.1
				38.8	36.5
				36.0	33.1
13. 技能者不足	14. 技術力不足	15. マーケティング力不足	16. 設備過剰	17. 法的規制	18. 為替問題
34.6	33.8	15.9	18.6	7.9	7.6
				1.4	1.1
				4.7	5.7
				2.3	3.0
19. 環境問題	20. 人材育成	21. 研究開発	22. 事業承継	23. その他	
1.4	6.5	42.1	46.4	7.0	6.8
				9.8	8.7
				1.9	2.7

株式会社ユーシン精機 **YUSHIN**

本社・工場 〒601-8205 京都市南区久世殿城町 555 番地
TEL : 075-933-9555 FAX : 075-934-4033

中部統括営業所 〒442-0809 愛知県豊川市大橋町 2 丁目 62 番地
TEL : 0533-89-2021 FAX : 0533-89-2020

名古屋西営業所 〒511-0065 三重県桑名市大中央町 21 番 9 号
TEL : 0594-24-9500 FAX : 0594-24-9505

静岡営業所 〒422-8035 静岡市駿河区宮竹 1 丁目 19 番 10 号
TEL : 054-238-2848 FAX : 054-238-2847

工業薬品・合成樹脂・食品添加物・包装材料

睦物産株式会社

〒450-0002
本 社 : 名古屋市中村区名駅 5 丁目 23 番 5 号
TEL 052-571-5121(代) FAX 052-565-0346
支 店 : 東京・大阪

5-2.当面の経営上の問題点におけるその他の意見

- 需要の落ち込み懸念
- スペース不足
- 設備の老朽化
- 設備の更新

○その他の意見がありましたら具体的にお書き下さい

- 売上全体で値引あり。お客様在庫持たず、下請けに持たず。人材育成など予定が立たない。
- 大口取引先からの値下げ要求が厳しい。
- 昨年度の景気程の勢いが減速となり、同業者間では厳しい状態と思います。関連業種により廃業となった業者も出て来ています。
- ここに来て↓になっています。来年はどうなるのか?まったく見えず。
- 受注量減少に伴い、設備稼働率が悪くなっている。
- ジワジワと景気が悪化しているように思われます。
- 今後の消費税が上がる事で経営を圧迫する感じがします。ただでさえ滞納の一番は消費税の未納が多い為。
- サウジアラビアの油田設備への軍事攻撃のニュースを聞き、今後の原材料価格への影響が心配される。施設等は思った以上に早く回復とのニュースのようなので、きちんと反映してくれるといいのですが。
- パートの最低賃金の毎年の値上げ パートが8割を占めるので毎年頭が痛い。
- 人件費よりも人材派遣費が高くなってきている。
- 原材料高が続くなか、消費税10%になり、負担がジワジワと来る見通し。
- 人手不足がMAXにきています。
- ブロー成型業界は不毛な競争から脱却する為、連携しなければいけない。

プラスチック原料販売及着色加工

 **永興物産株式会社**

本社 〒491-0828
愛知県一宮市伝法寺一丁目9番地8

TEL 0586-77-4033
FAX 0586-77-0814
<http://eikoubussan.jp>



TOYO

Customer's Value Up

~お客様の商品価値向上をめざす~

東洋機械金属株式会社 電動サーボ射出成形機
<http://www.toyo-mm.co.jp>

中部支店：〒465-0051 愛知県名古屋市長東区社が丘1-1202
TEL.052-704-4500 FAX.052-704-3980

各分類ごとの経営上の問題点 (2019年7~9月期)

1. 数字はすべて前期比で、単純平均%で表示しております

2. 傾向がわかるように、値が50%以上の場合は網掛けを行っております

	全 体	製 品 別						
		自動車	日用品・ 雑貨類	容器包装・ キャップ	電気・電子・ 通信部品	住宅関連	医療機器	その他
売上不振	42.1	30.7	73.9	33.3	48.5	36.4	25.0	64.3
輸出不振	2.3	1.3	4.3	0.0	3.0	0.0	0.0	7.1
製品・請負単価安	28.5	38.7	26.1	26.7	18.2	27.3	0.0	17.9
取引条件悪化	3.7	4.0	8.7	3.3	6.1	0.0	0.0	0.0
過当競争	9.3	4.0	8.7	16.7	9.1	0.0	25.0	14.3
輸入品との競合	3.7	0.0	8.7	10.0	9.1	0.0	0.0	0.0
流通経費増大	16.8	14.7	30.4	30.0	12.1	27.3	0.0	7.1
原材料高	25.7	20.0	34.8	23.3	30.3	27.3	75.0	21.4
借入負担増	5.6	8.0	4.3	3.3	3.0	18.2	0.0	3.6
銀行の貸し渋り	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
人件費高	38.8	44.0	34.8	40.0	45.5	63.6	25.0	17.9
採用難	36.0	37.3	52.2	43.3	24.2	36.4	50.0	17.9
技能者不足	34.6	42.7	26.1	30.0	42.4	27.3	25.0	25.0
技術力不足	15.9	17.3	21.7	10.0	24.2	9.1	0.0	10.7
マーケティング力不足	7.9	1.3	8.7	16.7	6.1	9.1	25.0	10.7
設備過剰	1.4	0.0	4.3	3.3	3.0	9.1	0.0	0.0
法的規制	4.7	6.7	8.7	0.0	9.1	9.1	0.0	0.0
為替問題	2.3	1.3	8.7	6.7	0.0	0.0	0.0	3.6
環境問題	1.4	0.0	8.7	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0
人材育成	42.1	49.3	34.8	26.7	54.5	36.4	25.0	39.3
研究開発	7.0	5.3	8.7	3.3	9.1	0.0	0.0	21.4
事業承継	9.8	14.7	4.3	10.0	9.1	18.2	0.0	3.6

粉粒体用機器&システム



問題解決に向かって共に歩む

株式会社 **カワタ** www.kawata.cc

名古屋営業所 〒461-0021 名古屋市東区大曾根1丁目2番22号
TEL.052-918-7510 FAX.052-911-3450



2018年よりロゴ変更と事務所機能を下記のとおり移転しました。
【営業・総務 新事務所】
〒451-0051 愛知県名古屋市西区則武新町4-3-17
加島ビル4F B号室
TEL:052-462-9190 FAX:052-462-9221
info@taisei-plus.co.jp
試作～量産までお問合せお待ちしております。
東海、九州、東北、タイに拠点

各分類ごとの業況判断 (2019年7～9月期) <前期比・前年同期比>

1. 数字は単純平均%で表示しております

	製 品 別																					
	団 体 別						製 品 別															
	全 体	中 部 日 本	東 日 本	神 奈 川 県	西 日 本	自 動 車	日 雑 貨 品 類	容 器 包 装	電 気 ・ 電 子 通 信 部 品	住 宅 関 連	医 療 機 器	そ の 他										
	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比										
生産高	17.8	28.0	14.5	29.0	14.3	14.3	19.8	25.6	21.3	33.3	8.7	13.0	10.0	30.0	18.2	15.2	36.4	54.5	50.0	75.0	10.7	25.0
売上高	44.9	29.9	46.8	22.6	33.3	38.1	39.5	31.4	49.3	36.0	21.7	34.8	63.3	30.0	45.5	36.4	9.1	0.0	0.0	0.0	39.3	14.3
製品単価	37.4	41.1	38.7	45.2	33.3	47.6	40.7	43.0	29.3	30.7	69.6	52.2	26.7	40.0	36.4	45.5	27.3	36.4	50.0	25.0	50.0	60.7
	5.1	10.3	8.1	9.7	4.8	14.3	5.8	14.0	0.0	2.7	0.0	8.7	16.7	26.7	9.1	12.1	0.0	9.1	25.0	25.0	7.1	14.3
	85.5	74.8	79.0	71.0	90.5	71.4	87.2	75.6	89.3	78.7	95.7	87.0	83.3	66.7	78.8	72.7	90.9	81.8	50.0	50.0	75.0	60.7
	9.3	14.0	12.9	16.1	4.8	14.3	7.0	10.5	10.7	18.7	4.3	4.3	0.0	6.7	12.1	12.1	9.1	9.1	25.0	25.0	17.9	25.0
採算	11.2	16.8	11.3	24.2	4.8	4.8	12.8	14.0	12.0	20.0	13.0	4.3	3.3	10.0	6.1	12.1	18.2	27.3	25.0	25.0	10.7	21.4
	57.0	49.1	54.8	38.7	71.4	71.4	52.3	48.8	61.3	53.3	34.8	43.5	63.3	66.7	66.7	48.5	72.7	54.5	50.0	50.0	46.4	32.1
	31.3	33.2	33.9	37.1	28.6	33.3	33.7	37.2	26.7	26.7	52.2	52.2	30.0	23.3	27.3	36.4	9.1	18.2	25.0	25.0	42.9	46.4
所定外 労働時間	13.1	15.4	16.1	21.0	0.0	4.8	12.8	12.8	17.3	21.3	8.7	4.3	10.0	10.0	9.1	15.2	18.2	27.3	25.0	25.0	7.1	10.7
	59.8	52.3	46.8	35.5	71.4	61.9	67.4	60.5	62.7	49.3	60.9	60.9	66.7	66.7	57.6	39.4	63.6	72.7	0.0	50.0	53.6	42.9
	26.6	30.8	37.1	40.3	28.6	33.3	18.6	25.6	20.0	29.3	30.4	34.8	20.0	20.0	33.3	42.4	18.2	0.0	75.0	25.0	39.3	46.4
製品在庫	13.6	14.0	17.7	17.7	0.0	0.0	17.4	17.4	6.7	9.3	21.7	26.1	30.0	23.3	12.1	9.1	9.1	9.1	25.0	25.0	7.1	7.1
	66.4	64.5	61.3	54.8	76.2	81.0	61.6	68.6	80.0	76.0	56.5	56.5	46.7	60.0	63.6	63.6	72.7	54.5	50.0	50.0	64.3	57.1
	20.1	20.6	21.0	24.2	23.8	19.0	20.9	14.0	13.3	14.7	21.7	17.4	23.3	16.7	24.2	24.2	18.2	36.4	25.0	25.0	28.6	35.7
材料 調達単価	18.7	27.6	29.0	35.5	14.3	19.0	15.1	29.1	14.7	21.3	26.1	43.5	16.7	23.3	27.3	42.4	9.1	18.2	50.0	50.0	10.7	17.9
	74.8	61.7	67.7	56.5	81.0	76.2	75.6	55.8	84.0	74.7	65.2	47.8	66.7	46.7	72.7	54.5	63.6	54.5	50.0	50.0	78.6	71.4
	6.5	9.8	3.2	4.8	4.8	4.8	9.3	15.1	1.3	4.0	8.7	8.7	16.7	30.0	0.0	0.0	27.3	27.3	0.0	0.0	10.7	10.7
総合判断	7.9	16.8	4.8	22.6	0.0	4.8	10.5	14.0	10.7	22.7	4.3	4.3	3.3	16.7	6.1	9.1	18.2	36.4	25.0	25.0	0.0	14.3
	58.4	45.3	53.2	33.9	76.2	57.1	55.8	47.7	65.3	53.3	34.8	39.1	60.0	53.3	66.7	45.5	63.6	36.4	25.0	50.0	57.1	32.1
	32.7	36.9	40.3	40.3	23.8	38.1	33.7	38.4	22.7	24.0	60.9	56.5	33.3	30.0	27.3	42.4	18.2	27.3	50.0	25.0	42.9	53.6
来期の 見通し	11.7		14.5		4.8		16.3		16.0		8.7		13.3		9.1		0.0		0.0		7.1	
	57.0		53.2		76.2		52.3		56.0		43.5		66.7		66.7		63.6		50.0		53.6	
	29.9		32.3		19.0		27.9		26.7		47.8		20.0		24.2		27.3		50.0		35.7	

チャリティゴルフ大会開催

組合創立55周年記念

笠置産業の福田佳克氏優勝

令和元年10月9日、春日井市の「オールドレイクゴルフ倶楽部」において愛知県プラスチック成形工業組合の創立55周年記念事業の一つとして、プラス会の協力のもと、チャリティゴルフ大会が開催された。

当日は前日の雨も上がり快晴の中、組合員はじめ協会賛助会員など総勢29名の参加を得て、ダブルペリア方式で実施した。

スタート前には、井上理事長から日頃の組合運営に対する支援と協力に対して、また重ねて今大会への沢山の参加に対するお礼と「本日は楽しくプレーを」との挨拶があり、アウト・インに別れてスタートした。

終了後、パーティ・表彰式を開催。笠置産業の福田佳克氏が、バーデー・パーが有りながらもダブルペリア方式の妙、別掲の如くハンディ



参加者全員で記念撮影

順位	会社名	氏名	OUT	IN	GRS	HC	NET
1位	笠置産業(株)	福田 佳克	55	44	99	28.8	70.2
2位	㈱鈴木化学工業所	鈴木 啓之	50	46	96	24.0	72.0
3位	藤和ライト工業(株)	小川 博司	45	49	94	21.6	72.4
4位	近畿電機(株)	鷺野 賢一	48	50	98	25.2	72.8
5位	いその(株)	太田 茂	42	39	81	7.2	73.8



右から3位の小川氏、優勝の福田氏、井上理事長、2位の鈴木氏

キャップにも恵まれ、優勝した。

なお、ご協力頂いたチャリティ金は他の事業の募金と併せて後日寄付される。引き続き55周年記念事業は、令和2年新年賀詞交歓会の前に予定されている。

令和元年度 第2回支部会

【第2支部】 9月11日 「てんぶら なか江」



ゴトープラスチック(株) (株)みづほ合成工業所
東海プラスチック工業(株) 北川工業(株) 事務局

【第5支部】 11月2日 「瓢亭」



三扇化学(株) (株)マルシン化成 DNP田村プラスチック(株) (株)大京化学 事務局

青年経営者研究会事業

トヨタ自動車 元町工場

『からくり道場』を見学

9月11日にイノアックを通じて、トヨタ自動車元町工場内の「グローバル生産推進センター」にある『からくり道場』を訪問し、土屋グループ長の案内で場内を見学した。

当日は、動力を使わないからくり人形の紹介。1600年代から人の知恵で一定の距離になると音がして、進んだ距離が分かるような人形の紹介。類似品をセンサーなど使わず、仕分ける道具や箱の搬送機の紹介などが主な内容であった。

『からくり』を使った改善事例では、からくりは知恵、スキル、経験が必要ですぐにできるものではないが、お金かけずに考えるという考えを持って欲しい。また、改善するにあたって法律や社内の安全のルールに当てはめては何か進めないの、現場が使いやすく、納得して使うものであれば労災は起こらないという考えで、現場課長の判断で取り組んでいるという説明を受けた。

当日は7名が参加、今回の見学会ではトヨタがこのような進め方をしているのを知って、この先、もっと柔軟な発想を持ち、社業に活かしていこうという印象を深めた。

業界レポート

[協会・組合の動向]

▼理事会

9月18日（名古屋市工業研究所） 32名

- (1)事務局より第56回令和元年度永年勤続優良従業員表彰の会社別推薦状況と全候補者名簿について8月19日開催の総務委員会で審査を行ったと説明。昨年より3名増となったが2年連続の大変少ない表彰者となった。審議の結果、原案通り全員一致で承認。
- (2)事務局より、資料に基き令和2年度の理事会開催日程について説明。総務委員会の検討結果、今年も開催月の第3水曜日を原則とすることを説明。審議の結果全員一致で承認。
- (3)事務局より、入会申込の正会員第8支部(株)ヒットと賛助会員(株)タイテックの新規入会について説明、併せて令和元年度入・退会状況及び会員数についても説明。審議の結果全員一致で承認。
- (4)事務局より、石川県で開催の中部地区業界団体懇談会に多くの役員の参加を要請。
- (5)立木技能検定委員長から前期技能検定の終了と後期技能検定の日程について報告。
- (6)事務局より、名古屋産業振興公社と共催の「中小企業技能者育成講座」の実施内容について説明。15名で実施予定。
- (7)組合創立55周年記念事業について説明。
- (8)その他、連合会、委員会、青年経営者研究会、年金基金、事務局報告。

10月16日（名古屋市工業研究所） 25名

- (1)事務局より、11月21日開催の中部地区業界団

 **Sumitomo**
SHI **DEMAG**

 **住友重機械工業株式会社** プラスチック機械事業部

国内営業部 中部営業所
〒465-0045 愛知県名古屋市名東区姫若町14-1
営業：TEL.052-702-3801 FAX.052-702-3806
サービス：TEL.052-702-3803・3802 FAX.052-702-3806
URL <http://www.shi.co.jp/plastics>

ISONO いそのプラスチック材料

有限なる資源を限りない人生の幸福のために

いその株式会社

名古屋市東区相生町55 〒461-8630
TEL(052)931-1211(代)
FAX(052)930-1975

体懇談会の参加者は6名になったと報告

(2)立木技能検定委員長から、前期技能検定の合格発表に基き、合格率は1級21.3%、2級29.5%、また相変わらず失格者が53.3%と多いと報告。

(3)事務局より中小企業技能者育成講座の受講者が予定より少ないので申し込みを要請。

(4)井上理事長より、組合創立55周年記念事業の一環として10月9日オールドレイクG.C.でチャリティゴルフ大会を開催したと報告。

(本文記事参照)

(5)その他、委員会、青年経営者研究会、年金基金、事務局報告。

▼総務委員会

9月18日 (名古屋市工業研究所) 10名

(1)9月の理事会上程事項について検討した。

(2)その他

▼文化広報委員会

10月1日 (名古屋市工業研究所) 8名

(1)137号の反省と138号及び139号(新年賀詞交歓特集号)の企画・編集方針を検討した。

(2)その他

【全日本プラスチック製品工業連合会】

▼第190回理事会

11月24日 (ホテルキャスルプラザ)

(1)令和2年新年賀詞交歓会開催始め、今後の日程・会場について

(2)前期技能検定試験結果、外国人技能実習制度、台風被害状況の調査、働き方改革などについて専務理事より報告。

(3)その他

▼中央技能検定委員会

愛知県プラスチック成形工業組合が設立した

従業員の皆様の豊かな老後の生活を守る

愛知県プラスチック成形企業年金基金

名古屋市中区新栄町2丁目13番地

(栄第一生命ビル)

TEL(052)953-8411

FAX(052)953-8417

10月7日 (中央職業能力開発協会) 児玉委員

(1)随時2級の問題作成。

10月31日 (中央職業能力開発協会) 児玉委員

(1)随時2級の問題作成。

▼製造分野特定技能1号評価試験

(プラスチック成形)

9月17日 第1回問題作成委員会 (フクラシア東京ステーション) 児玉委員

10月15日 第2回問題作成委員会 (ビジョンセンター東京有楽町) 児玉委員

告 知 板

【入会】

▽賛助会員

(株)東洋化学商会西日本販売 名古屋支店

〒453-0023 名古屋市中村区若宮町3-9-1

TEL (052) 433-1168 FAX (052) 433-1169

〈本社〉(株)東洋化学商会

〒136-0071 東京都江東区亀戸9-37-1

TEL (03) 3685-4351 FAX (03) 3637-5276

【代表者変更】

▽賛助会員 テクノUMG(株)名古屋支店

支店長 矢田浩之

組合創立55周年記念式典 令和2年新年賀詞交歓会

日 時：令和2年1月17日 (金曜日)

午後3時～7時

(受付 午後2時30分開始)

場 所：「名古屋国際ホテル」

【講演会】午後3時～4時15分

演 題：「複雑な国際情勢を読み解く

企業経営」

講 師：愛知淑徳大学

教授 真田幸光氏

【記念式典】午後4時30分～4時50分

【賀詞交歓会】午後5時～7時